

見附特別支援学校 学校だより

見附市立見附特別支援学校
令和7年度 第3号
令和7年7月24日
新潟県見附市月見台 1-10-74
電話 (0258) 63-2210
E-mail mitsuke.tokubetsu-ss@edu-niigata.ed.jp



地域で豊かに自分らしく生きる ～実習が育む未来への力～

進路指導主事

高等部では、職場・校内実習を通して「自己理解」と「職業理解」を深める学びを大切にしています。自己理解とは、自分の得意なことや苦手なこと、好きなことや頑張れることを知ること。職業理解とは、社会にはどのような仕事や働き方、福祉サービスがあり、どんな力が求められているのかを知ることです。

校内実習では、様々な企業からの受託作業や清掃、軽作業などを通じて基礎的な力を身に付け、自分に合った作業種や働き方を見つける機会となります。最初は思うようにいかないこともありますが、自分自身と向き合い試行錯誤を重ねる中で、着実に力をつけながら成長していきます。そして、校外の職場実習では、地域の企業や施設の皆様のご協力のもと、実際の職場での体験を行っています。社会の中で働くことの意味や責任を学び、感謝の声をかけられる経験が、自己の将来へ希望や、自己実現に向けた日々の生活への大きな励みとなっています。

さて、話は変わりますが、5月の終わりに、地域の高齢者介護施設で働く卒業生を訪問しました。彼は利用者の方のベッドメイキングやリネン交換を担当し、その日も額に汗をにじませながら、先輩とともに誠実に仕事へ向き合っていました。仕事のやりがいについて尋ねると、少し照れながらも真剣なまなざしで、「自分が整えたベッドで、利用者さんが気持ちよく過ごしている様子を見た時です。」と語ってくれました。その瞬間、かつて実習に励んでいた彼の姿が鮮明によみがえるとともに、例えようのないうれしさが込み上げました。実は彼も、進むべき道を探し続けていた生徒のひとりでした。そんな中、在学中の実習を通じて介護の世界に魅力を感じ、やがてそれを「夢」とするようになりました。そして、その夢を叶えるために、自分に必要なものを見極め、日々努力を積み重ねてきたのです。今、彼はその道を確かに歩み始め、さらにその先にある資格取得を目指す新たな未来を描いています。

実習は、将来の進路を考えるうえでの大切なステップです。自分を知り、社会を知ること、「どんな仕事がしたいか」「どんなふうに働きたいか」、さらには「自分らしい生活とは何か」を少しずつ描けるようになります。これからも、生徒一人ひとりの気づきや成長を大切にしながら、実習を通じた学びを支え、夢へと踏み出す後押しをしていきます。

学部紹介

小学部



7月3日(木)、七夕集会を行いました。司会進行は、2年生が務めました。「たなばたさま」を歌い、代表が願い事を発表した後、全員で笹の絵に自分の願い事を書いた短冊を飾りました。クイズも担当し、○×クイズで盛り上がりしました。

七夕ゲームでは、違う学年同士がペアになり、彦星と織姫の待つ夜空に2人で協力して星を飾りました。たくさんの星がちりばめられ、すてきな夜空ができました。

異学年との交流もでき、心温まる時間となりました。



◆ ◆ ◆ 中学部 ◆ ◆ ◆



6月18日(水)に社会科見学としてPLANT5に行きました。

PLANT5では、売り場や普段入ることができないバックヤードを見学しました。バックヤードでは、商品を台車で運ぶ体験をさせてもらったり、-18℃の冷凍室に入らせてもらったりしました。

見学の後は、店長さんに自分たちで考えた質問をしました。毎日平均〇〇人の来店者がいることや、一番売れる総菜は〇〇〇〇で1日〇〇個売れることなどが分かりました。(答えは↓) 充実した見学となりました。

来店者は平均5000人
一番売れるのはコロッケ
1日2000個売れる



校内実習



高等部

5月26日(月)から6月13日(金)の3週間、前期の校内・職場実習を行いました。

校内実習は、生徒の実態に合わせて2つの作業班に分かれて行いました。企業からの受託作業、校内外の美化作業、リサイクル作業など多岐にわたる作業に取り組みました。

職場実習では、2・3年生が市内外の福祉サービス事業所へ行き、仕事や活動に参加させていただきました。個々に合った事業所で、実際のサービス内容に沿った実習を行うことができました。

働くことの喜びと大変さを実感できた3週間となりました。実習は秋にもう一度行われるので、今回の経験を踏まえ、さらに良いものになるよう取り組んでほしいと思います。

職場実習

